

第38回 通常総会資料

平成26年6月10日(火)

東京都墨田区錦糸1-2-2

東武ホテル レパント東京

TEL 03-5611-5511(代表)

全日本プラスチックリサイクル工業会

東京都墨田区東駒形 2-18-12

TEL 03-3625-5651

総会次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事
 - 1) 第1号議案 平成25年度事業報告及び決算関係書類承認の件
(監査報告)
 - 2) 第2号議案 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
 - 3) 第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件
6. 議長挨拶降壇
7. 万歳三唱
8. 閉会のことば

懇親パーティー

1. 会長挨拶
2. 来賓祝辞
3. 乾杯
4. 中々

第1号議案

平成25年度 事業報告書

自 平成25年5月1日

至 平成26年4月30日

概況

平成26年5月作成

国内では政権が民主党から自民党に変わりアベノミクスと称されている経済再生政策を掲げ、実行に入りました。政策の骨子は「大胆な金融政策」、「機動的な金融政策」、「民間投資を喚起する」の三本の矢といわれております。

これに基づいて日銀はかつて無い金融緩和を実行し、株式市場はバブル期に近い活況を呈し、為替は急激な円安に振れております。

この円安、株高により三月期の大手企業の決算は大幅に改善され各種の経済指標はおおむね良好に推移しております。

しかし、製造業に関しては製造拠点の国内回帰は進んでおらず、いまだに小雨の状況が続いていると思われます。また、携帯電話等電子機器にみられるように日本の技術開発力に陰りがみられ、今後の成長に重大な影響を及ぼすと思われます。

このような経済環境下、会社を経営されている会員の皆様方におかれましては多大なるご苦労と、たゆまぬ変革のご努力をされていることと思ひます。

昨年度は当工業会も関係諸団体と連携し、新しい情報、技術等の収集に努めてまいりました。今後も産学官の連携をより強めて業界の発展を推し進めることが重要な課題ではないかと思われます。

会員の皆様におかれましては業界が縮小する中、厳しい経営を余儀なくされると思ひますが情報を密にし、一致団結し次の地代を迎えられるよう祈念いたします。

2. 会員の移動

区分 会員	25年5月	26年5月	増減	摘要
関東プラスチックサイクル協同組合	51	51	-1	
日本合成樹脂有効利用組合	5	5	0	
東日本プラスチック再生協同組合	27	25	-2	
愛知県プラスチックサイクル協同組合	33	33	0	
北陸合成樹脂商工会	5	4	-1	
京滋プラスチックサイクル工業会	13	11	-2	
関西プラスチックサイクル商工会	15	15	0	
九州プラスチックサイクル工業会	6	8	+2	
個人会員	4	4	0	
合計	159	155	-4	

3. 会議開催状況

(1) 総会

- イ. 開催日時 平成25年6月11日(火) 午後2時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 46名 (本人出席33名 (委任状13名)) / 総数52名

二. 議事の経過及び議決の結果

平成24年度事業報告及び決算を承認したあと、平成25年度事業計画及び予算案を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法を議決し、常任理事及び理事を選出し全議案を審議終了した。

(2) 第1回常任理事会

- イ. 開催日時 平成25年6月11日(火) 午前11時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 22名 (本人出席22名) + 事務局1名

二. 協議事項

1. 通常総第37回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成24年度決算報告、平成25年度予算案の審議について
3. 役員選出について
4. 市況分析
5. その他

(3) 第2回常任理事会

- イ. 開催日時 平成26年3月11日(火) 午後2時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 19名 + 事務局1名

二. 協議事項

1. 通常総第38回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成25年度決算報告、平成26年度予算案の審議について
3. エコキャップ活動について
4. カーボンフットプリント活動について
5. 市況分析
6. その他

平成25年度 収支報告(予算・実績対比)(案)

自 平成25年5月 1日

至 平成26年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要			
賦課金	1,113,000	1,113,000	0	関東 51	357,000	日本有 5	35,000
参加費収入	50,000	80,000	30,000	東日本 27	189,000	愛知 33	231,000
				九州 6	42,000	北陸 5	35,000
受取利息	1,000	304	-696	関西 15	105,000	京滋 13	91,000
その他収入	0	500,000	500,000			個人 4	28,000
前年度繰越金	1,584,266	1,584,266	0			計 159	1,113,000
合 計	2,748,266	3,277,570	529,304				

支出の部

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要	
教育情報費	300,000	87,717	-212,283	予 業界懇談会費用(講演・講師御礼等)	
				実 経済産業省意見交換会費用	
調査研究費	250,000	8,138	-241,862	予 調査費	
				実 CFP調査費	
会議費	900,000	745,377	-154,623	予 第37回通常総会費 常任理事会	
				実 第37回通常総会費 3/11常任理事会	
福利厚生費	30,000	0	-30,000	予 慶弔費	
				実 無し	
通信費	30,000	0	-30,000	予 郵便料	
				実 無し	
広告宣伝費	200,000	186,586	-13,414	予 ホームページ管理料、業界紙広告料	
				実 レンタルサーバー料65626、ホームページ管理料120960、	
事務用消耗品費	10,000	0	-10,000	予 事務用品代	
				実 無し	
支払手数料	2,000	1,680	-320	予 振込手数料 等	
				実 振込手数料840	
旅費交通費	100,000	0	-100,000	予 交通費	
				実 無し	
雑費	100,000	68,796	-31,204	予 その他諸経費	
				実 相談役への記念品	
翌年度繰越金	826,266	2,179,276	1,353,010	普通預金 2,108,322円 現金 70,954円	
合 計	2,748,266	3,277,570	529,304	サーバーレンタル期間2013年6月1日～2015年5月31日	

会計監査報告書

平成 25 年度決算について厳正に監査した結果、別紙収支報告の
通り間違いない事を報告いたします。

平成 26 年 6 月 10 日

全日本プラスチックリサイクル工業会

監事 藤井 達雄

監事 二井 真



自 平成26年5月 1日

至 平成27年4月30日

1. 基本方針

国内製造業の低迷が続く中、今後の存続、成長するためにはよりニッチ化する(技術力を高めて差別化する)、より情報、交流の場広めることにつとめなければならないと思われます。

本年度は産学官の連携を模索し、交流を広めながら技術情報の取得につとめ業界の拡大を図りたいと思います。また新たに制定された小型家電リサイクル法を研究し再生可能な原料ソースの確保、再生技術の確立を目指したいと思います。

限りある資源の有効活用を通じて循環型社会の形成のために私たち会員企業が連携し社会の発展に貢献して行きたいと思います。

2. 事業計画

(1)組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

(2)広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを活用する。

(3)教育情報・調査研究活動

①組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

②業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題(特に環境・リサイクル関連)について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

③関係団体等開催の講習会への参加

(4)関係官庁・団体との連絡

経済産業省化学課

日本プラスチック工業連盟

(社)プラスチック処理促進協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検験検疫総局

平成26年度 収支予算 (案)

自 平成26年5月 1日

至 平成27年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
賦課金	1,085,000	関東 50 350,000 日本有 5 35,000
参加費収入	50,000	東日本 25 175,000 愛知 33 231,000
		九州 8 56,000 北陸 4 28,000
		関西 15 105,000 京滋 11 77,000
受取利息	1,000	個人 4 28,000
その他収入	0	計 155 1,085,000
前年度繰越金	2,179,276	
合 計	3,315,276	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
教育情報費	300,000	業界懇談会費用(講演・講師お礼等)
調査研究費	250,000	調査費
会議費	900,000	第38回通常総会会費・常任理事会
福利厚生費	30,000	慶弔費
通信費	30,000	郵便料
広告宣伝費	200,000	レンタルサーバー費・H.P.管理料・その他
事務用消耗品費	10,000	事務用品代
支払手数料	2,000	振込手数料 等
旅費交通費	100,000	交通費
雑費	100,000	その他諸経費
翌年度繰越金	1,393,276	
合 計	3,315,276	

第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件(案)

※定款第12条

- ・本会は、その行う事業の費用(使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く)に充てるための会員に経費を賦課することができる。
 - ・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。
- ※会費 金7,000円/一社 ※時期-総会后3ヶ月以内
※方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

※ リサイクル推進協議会の表彰について
ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

年度	グループ	各ブロック名(会員数・・・多少増減はあります)
H25年度	A	関東プラスチック(50社)
H26年度	B	東日本プラスチック(25社). 日本有効(5社)
H27年度	C	愛知県プラスチック(33社)
H28年度	D	北陸合成(4社). 九州プラスチック(8社). 個人会員(4社)
H29年度	E	関西プラスチック(15社). 京滋プラスチック(11社)

計155社

グループの動き(A→B→C→D→E)

全日本プラスチックリサイクル工業会 エコキャップ協力実績

キャップ受領時期 2013/5/1～2014/4/30

回収組合	回収企業名	累計受入個数	累計受入重量(kg)	(注)ポリオワクチン(人数分)
関東プラスチックリサイクル 協同組合	株式会社、協栄産業(株)、進栄化成(株) 石塚化学産業(株)、中村化成工業(株)	838,054,909	1,947,666.45	974,482
愛知県プラスチックリサイクル 協同組合	いその(株)、(株)石神化学工業所、永興物産(株) (株)名古屋商事、(株)ビッグ合成樹脂、フジイ化工(株)	119,811,613	278,278.97	139,316
京滋プラスチックリサイクル 協同組合	エンプラ(株)、近江物産(株)、松本商会(株)	29,185,975	67,225.40	33,937
合計		987,052,497	2,293,170.82	1,147,735

(注)キャップ860個でポリオワクチン(20円)1人分です